

ヘキサゴンでつくる小物入れ



できあがりサイズ : 約横14cm×縦14cm×高さ5cm
作り方によってサイズは多少異なることがあります。

必要な道具

(80-841) パターンスタンスヘキサゴン22mm

縫い針/待針/はさみ/縫い糸(布と同色のもの、もしくは白または生成り)/キルターペンシル/アイロン/シンスル など

用意する材料

- 布(ピース用) ----- 1枚(約7×6cm)37枚分
 - 布(裏用) ----- 約27×27cm
 - キルト綿 ----- 約27×27cm
 - パイアステース ----- (幅約3.5cm)約50cm 1本
- ※材料は多少余分をみて、多く表記してあります。

ご注意

※道具や材料、できあがった作品を、お子さまが誤って扱い、飲み込んだりケガをすることのないように十分ご注意ください。

はじめに

- ・まずはじめに説明書全体をよく読みましょう。次に材料がそろっているか確認します。
- ・生地にシワがある場合はアイロンをあてて伸ばしておきます。
- ・縫い方によって大きさが若干変わります。寸法、縮小図案の位置は目安ですので、参考にしてバランスよく作ってください。
- ・数字の単位はcmで全て約表示です。

①生地のカ断

1. 生地の裏側にパターンスタンスを使って印つけをします。型紙を使う場合はキルターペンシルなどで型紙のきわをなぞって布に描き、その後、縫い代(0.7cm)を描き足します。

2. 生地を図のようにカットします。

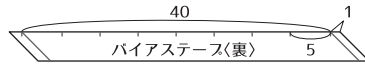
●布(ピース用)



※37枚カットします

3. すべての生地をカットしたら縮小図案を参照し、ピースを表向きにならべてレイアウトを確認します。

4. パイアステースを図のようにカットし、8等分の合印を入れます。

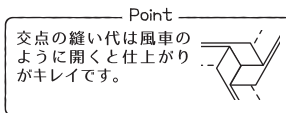
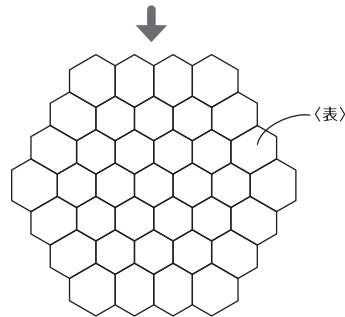
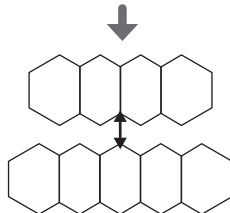
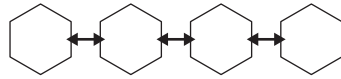


②ピースワーク

1. ピースを中表に合わせて、印の角から角までを縫い合わせます。ピースを開いて縫い代を(→)の方向にたおし、アイロンをあてます。



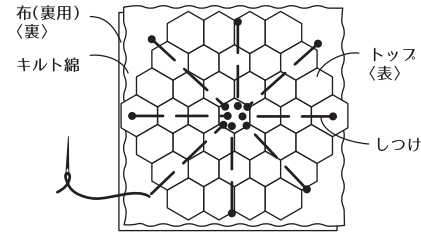
2. 縮小図案を参照し、すべての生地をピースワークします。縫い代を縮小図案を参考に、(→)の方向にたおしアイロンをあてます。スロック同士を縫い合わせる際は縫い代を起こして、縫い代を縫いこまないで縫います。



トップのできあがり

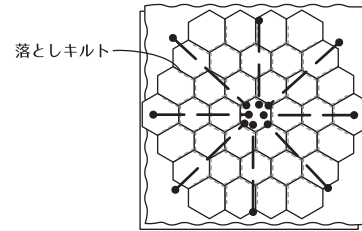
③ベースティンク

布(裏用)、キルト綿、トップの順に重ねて、中央から放射線状にしつけをかけます。



④キルティング

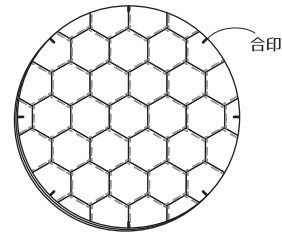
縮小図案を参照してキルティング(落としキルト)をします。



Point
落としキルトとは、ピースどうしの縫い目ギリギリのところにキルティングすることです。縮小図案では分かりやすくするために縫い目から離して記してありますが、実際にはなるべく縫い目に近づけてキルティングします。

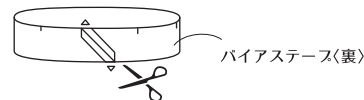
⑤仕立てます

1. キルトのしつけをはずし、縮小図案を参照し、直径22cmの円形にカットし、合印を描き入れます。

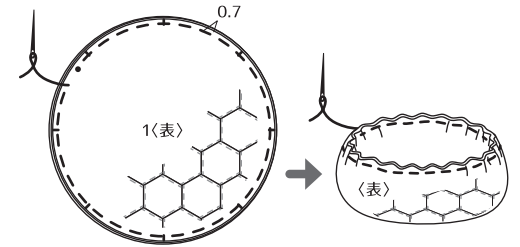


Point
カット位置は目安です。キルティングすることによって縫い縮んでいる場合はカット位置を調整して指定のサイズにカットします。

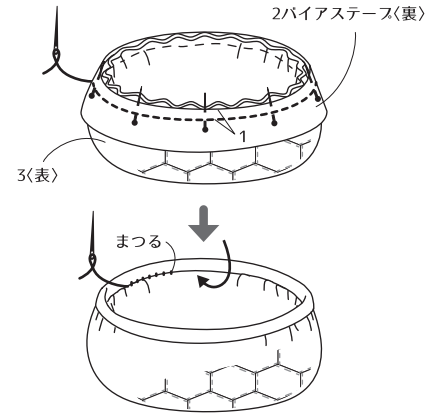
2. パイアステースを輪にして縫い合わせます。縫い代を割り、飛び出た余分な縫い代はカットします。



3. 1の端から0.7cmの位置を一周、粗くくし縫いし、糸を引き締めて円周が40cmになるように止めます。
*わかりやすくするため、図を省略しています。





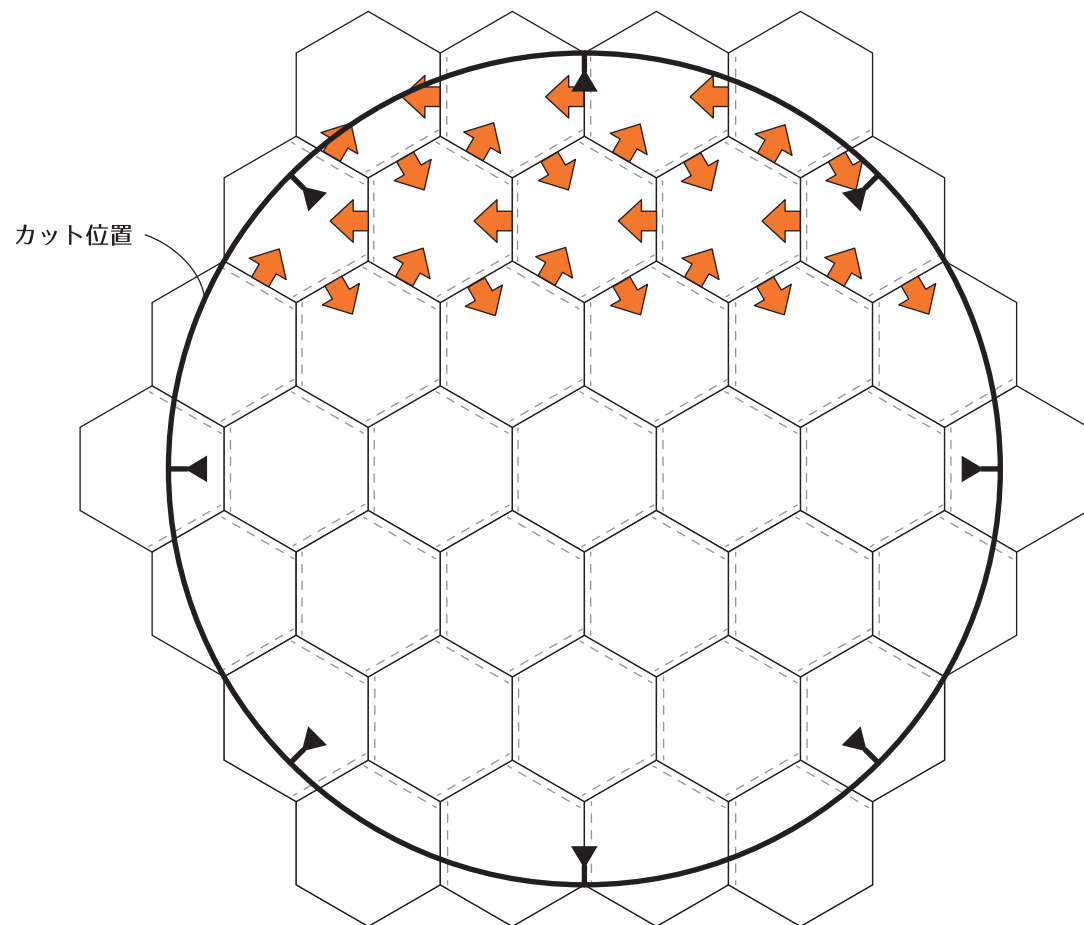
4. 2のパイアステースと3の本体の合印を合わせながら待針をうち、ギャザーを均等に寄せた状態でパイピングをします。



-できあがり-

縮小図案

- ・縮小図案は表から見た図です。ピースのレイアウトの参考にしてください。
- ・実物大で使用する場合は拡大コピー(200%)をしてください。
- ・()は合印の位置です。
- ・(- - - -)は落としキルトの位置です。
- ・()の方向へ縫い代を倒します。



実物大型紙

- ・型紙は縫い代を含んでいません。
- ・図は布の裏に写します。

